

【企画紹介】東北大学主催 エネルギーシンポジウム「2050年の世界と東北」 (3/7開催)

[[Topics](#)] [[イベント](#)] 2016年02月26日

東北大学主催 エネルギーシンポジウム「2050年の世界と東北」(3/7開催)にて
G-Safetyプログラム1期生の
小桧山朝華 東北大学大学院工学研究科 D2が
学生オピニオンを行います。

企画詳細については下記サイトを参照ください。

<http://www.tohoku.ac.jp/japanese/2016/02/press20160223-06.html>

東北大学主催 エネルギーシンポジウム「2050年の世界と東北」（3/7開催）

2016年2月23日 14:00 | イベント, プレスリリース, 学会・研究会・シンポジウム

東北大学では、全学一丸となって推進する「エネルギー研究連携推進委員会」を設置し、エネルギーに関連するすべての研究者の創意工夫や研究ポテンシャルを活かしながら、エネルギー研究の連携・協力と情報交換、学部や研究所間の良好なコミュニケーションの構築と効率的な研究を推進する活動を行っています。

今回、下記のとおりシンポジウムを開催する運びとなりましたので、お知らせいたします。

日時：2016年3月7日（月）13:30～17:00

会場：仙台国際センター「大ホール」（1,000人収容）

参加費：無料

申し込み方法：[登録フォーム](#) に必要事項を入力し送信してください。

開催趣旨：世界は人口増加と産業の発展に伴いエネルギー需要が増大する一方で、本邦は人口とエネルギー需要の減少が予測されている。相反するエネルギー環境の中で地球温暖化を抑制し持続可能な社会の形成を目指し、東北から新たなエネルギー社会を発信する。

[詳細（プレスリリース本文）](#)



問い合わせ先

エネルギーシンポジウム「2050年の世界と東北」開催事務局

E-mail : tohoku2050*mail.ifs.tohoku.ac.jp (*を@に置き換えてください)

Tel : 022-217-5302 (東北大学流体科学研究所総務係)



TOHOKU
UNIVERSITY

平成 28 年 2 月 23 日

報道機関 各位

東北大学流体科学研究所

〈開催案内〉 東北大学主催 エネルギーシンポジウム 2050 年の世界と東北

東北大学では、全学一丸となって推進する「エネルギー研究連携推進委員会」を設置し、エネルギーに関連するすべての研究者の創意工夫や研究ポテンシャルを活かしながら、エネルギー研究の連携・協力と情報交換、学部や研究所間の良好なコミュニケーションの構築と効率的な研究を推進する活動を行っています。

今回、別紙のとおりシンポジウムを開催する運びとなりましたので、お知らせいたします。つきましては、広く市民の皆様にご周知いただくとともに、当日はご取材いただき、紙面、番組等で紹介いただけますよう、何卒よろしく願いいたします。なお、取材をご希望の際は、下記問い合わせ先へご連絡願います。

【シンポジウム開催概要】

『東北大学主催 エネルギーシンポジウム 2050 年の世界と東北』

日時：2016 年 3 月 7 日（月）13:30～17:00

会場：仙台国際センター「大ホール」（1,000 人収容）<http://www.aobayama.jp/>

〒980-0856 仙台市青葉区青葉山無番地

参加費：無料

申し込み方法：以下のサイトから必要事項を入力し送信下さい。

<https://ssl.form-mailer.jp/fms/e324383c417868>

開催趣旨：世界は人口増加と産業の発展に伴いエネルギー需要が増大する一方で、本邦は人口とエネルギー需要の減少が予測されている。相反するエネルギー環境の中で地球温暖化を抑制し持続可能な社会の形成を目指し、東北から新たなエネルギー社会を発信する。

【詳細】

今回企画したシンポジウムでは東北大学が、現在のエネルギー環境の下で地球温暖化を抑制し持続可能な社会の形成を図ること、また東北地方から発信する新たなエネルギー社会の実現に貢献することを旨とし、これまで「エネルギー研究連携推進委員会」で議論を重ねてきた東北大学のエネルギー研究の戦略や今後の方向性を示します。

プログラムには、先進的なエネルギー産業の取組みの紹介や国の科学技術重要施策アクションプランとの連動、さらに関係府省庁、自治体、独立行政法人あるいは企業との組織的な連携の重要性について議論を行うパネルディスカッションなどを行います。

〈お問い合わせ先〉

エネルギーシンポジウム「2050 年の世界と東北」開催事務局

E-mail: tohoku2050@fmail.ifs.tohoku.ac.jp

Tel : 022-217-5302（東北大学流体科学研究所総務係）



東北大学主催

エネルギーシンポジウム 2050年の世界と東北

人口増加と産業の発展に伴い、世界全体のエネルギー需要が増大する一方で、日本は人口とエネルギー需要の減少が予測されています。相反するエネルギー環境の中で、地球温暖化の抑制と持続可能な社会の形成を目指し、東北から新たなエネルギー社会を発信します。

2016 3/7 Mon.

参加
無料

会場

仙台国際センター
大ホール(会議棟)

地下鉄東西線 国際センター駅 隣接

〒980-0856

仙台市青葉区青葉山無番地

<http://www.aobayama.jp/>



お申込み

下記 URL にアクセスし必要事項をご記入の上、3/4 (金) までに送信して下さい。

<https://ssl.form-mailer.jp/fms/e324383c417868>

お問合せ

エネルギーシンポジウム「2050年の世界と東北」開催事務局

✉ tohoku2050@fmail.ifs.tohoku.ac.jp

☎ 022-217-5302 (東北大学流体科学研究所 総務係)

13:30 / 開会の挨拶 里見 進 東北大学 総長

13:35 / 東北大学の挑戦
エネルギー研究連携推進ワーキンググループ

13:45 / 基調講演 「今後の科学技術政策について」
原山優子 内閣府 総合科学技術・イノベーション会議 議員

14:25 / 企業の取り組み
松下浩之 NTT データカスタマサービス(株)
プロエンジニアリング事業部 システムエンジニアリング部長
河野龍興 (株) 東芝
次世代エネルギー事業開発プロジェクトチーム 担当部長

14:55 / 東北大学の取り組み
エネルギー研究連携推進ワーキンググループ

15:15 / 休憩

15:30 / パネルディスカッション 「産学官連携を通じたエネルギー産業化への貢献」

ファシリテーター 進藤秀夫 東北大学 産学連携担当理事

パネリスト 中村 仁 東北経済産業局 資源エネルギー環境部 部長

大和田野芳郎 産総研 福島再生可能エネルギー研究所 所長

菊田 敦 仙台市 まちづくり政策局 防災環境都市推進室 室長

古川 齊司 (株) バイオマスパワーしずくいし 代表取締役社長

16:45 / 学生オピニオン 小松山朝華 東北大学大学院工学研究科 D2

16:55 / 閉会の挨拶 伊藤貞嘉 東北大学 研究担当理事

